

# NPOと市民をつなぐ みやしるべ

第2号

西宮市民の皆様へ 東 朋子 委員長	1
NPO訪問記	
ダイヤモンド・クロス	2
あんずぼこ	3
ひょうご新民法 21	4
関西トータルヘルスサポートセンター	5
西宮くぐつ座	6
兵庫介助犬協会	7
素人落語我楽多の会	8
STEP BY STEP	9
なごみ	10
アマモ種子バンク	11
兵庫県地球温暖化防止活動推進員西宮支部	12

発行：西宮市・NPO等公益活動市民団体啓発事業実行委員会 発行日：平成28年3月1日

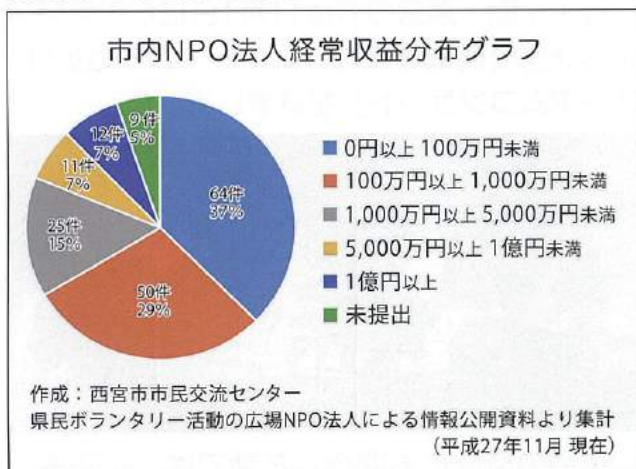
## 西宮市民の皆様へ

平素は市内NPO等市民団体の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、市内には171のNPO法人、40の西宮市市民交流センター登録団体があります。

ボランティア活動を軸に運営されている団体から、経常収益が6億円を超えるNPO法人まで、規模も活動種類も多種多様ですが、お互いに連携し、より良い西宮を創るため活動しています。

市内NPO法人の経常収益を調査し分布グラフにしてみる（下図）と収益が100万円を超えるNPO法人が98あり、全体の約60%近くなり成長してきています。



平成27年10月から兵庫県においてNPO法人の認証手続きが変更になり、縦覧期間の短縮等、一層短期間で法人化できるようになりました。

当然法人格を取得すれば税・労務管理等も一般の民間企業と同じ責務を負うことになり、NPO法人だからといって決して特別扱いをうけるわけではありません。また、市民の皆様方の信頼に応える活動を続けていかなければ、継続的な事業実施は実現しません。

是非、皆様の周りのNPO法人等の扉を叩いてみてください。

きっと新たな繋がりが生まれます。

私たちが少しでも皆様のところ豊かな市民生活を送るお役に立てれば幸せです。

そして私たちの活動への理解促進を目的として発行される広報誌「みやしるべ」も昨年度に続き二号目となり、広報部会のメンバーも楽しみながら作成に取り組んでいます。

本広報誌は発行回数を重ねれば重ねるほど、多くの団体の活動を知って頂けるよう工夫されています。是非、最後までお目通しくださいませ。

NPO等公益活動市民団体啓発事業実行委員会  
実行委員長 東 朋子



みやしるべ編集会議風景

次ページ以降のNPO訪問記は市内のNPO部会の皆様にアンケートを実施し「みやしるべ」への取材へ「協力できる」と回答して下さった34団体の中から11団体へお伺いしたものです。

今回「みやしるべ」への取材協力を表明して頂いた団体の皆様（今回掲載先11団体を除く）

〔(特活) ゆーあい〕〔(特活) ところ・からだ研究所〕〔(公社) 日本空手協会賛助会員西宮支部〕〔すこやか女性プロジェクト西宮〕〔(特活) 兵庫県障害者タンDEMサイクリング協会〕〔(特活) CAPセンター・JAPAN〕〔(特活) はらっぱ〕〔(特活) 障害者生活支援センター遊び雲〕〔(特活) 認知症予防サポートネット〕〔(特活) ハートフル〕〔(特活) パソコンを弾く研究会〕〔市民オンブズ西宮〕〔(特活) かめのすけ〕〔(特活) チーム御前浜・香榎園浜里浜づくり〕〔ツーリズム西宮楽らく探見隊〕〔(特活) 兵庫県健康管理士会〕〔(特活) 浜脇・香榎園ひろばカフェの会〕〔西宮お手玉の会〕〔(一社) みんなの居場所DREAM〕〔(特活) 海浜の自然環境を守る会〕〔(特活) 世界健康フロンティア研究会〕〔(特活) 兵庫県不動産コンサルティング協会〕〔(特活) 支援の会ひまわり〕 敬称略

略記 (特活)：特定非営利活動法人 (公社)：公益社団法人 (一社)：一般社団法人 (なし)：任意団体

## NPO 訪問記

No.1

特定非営利活動法人

### ダイヤモンド・クロス

#### ダイヤモンド・クロス名称の由来

音楽イベント等を実施しようとする、演奏者、スタッフとともに企画から会場の準備、当日の進行を行うプロデューサーが必要です。ダイヤモンド・クロスは、主に西宮北口駅周辺を中心とした西宮市内と阪神間の個人及び団体等に対し、文化・芸術の発信のプロデュースを主目的として結成されました。

ダイヤモンド・クロスの名前は、昭和60年まで、阪急神戸線と今津線が西宮北口で平面交差していたことで名づけられています。

#### 活動の種類（自主企画・後援企画）

ダイヤモンド・クロスには自身が企画、運営するイベントと委託を受け企画支援、運営するイベントと2種類あります。

今回後者の例としては、西北活性化協議会が主催する「第9回にしきた音楽祭 LA LA LA ミュージシャンコンテスト2015の決戦」の様相を見させていただきました。

このイベントは1次、2次の予選を勝ち抜いた8組の団体で、10月20日17時30分から芸術文化センター中ホールで開催されました。

13時ごろ会場に到着すると、出演者が続々集合してこられました。

13時半からダイヤモンド・クロスの担当者から、本日の進行に対する注意事項に関して出演者に説明を行います。



その後各出演者は持ち時間10分で、順次リハーサルを行っていきませんが、主に足元のモニタス

ピーカーから音のレベルを調整していきます。

リハーサルではいろいろ準備の行き違い等のハプニングもありますが、できる限り出演者が良いパフォーマンスが発揮できるよう努力されます。

16時半いよいよ開場で、お客さんが入ってきて本番です。

本番中は舞台上上がることもなく、そでで見守ります。

出演者全員の演奏が終了すると、審査員から審査結果を集め、表彰と大忙しです。

舞台はほぼ予定通り進行し、10分予定オーバーの20時10分閉演しました。



このイベントは今回第9回目で、西北活性化協議会の主催ですが、イベントを開催する上では運営に精通したダイヤモンド・クロスのような組織の支援が必要なのが良くわかりました。

自主企画・運営の方は11月1日に仁川学院コルペ講堂で開催された「ルフト・ムジカ第5回オータムコンサート」を見学しました。



休憩の時間にお聞きした話では、出演者・会場提供先・地元の皆様等多くの団体や人達の協力で成り立つ、輝く人の心の輪ともいえるものですが心の街づくりという活動がますます充実するよう期待が膨らむ訪問でした。

(訪問者：広尾)

〒651-1413 西宮市北六甲台1-3-8  
TEL: 078-907-5840 FAX: 078-907-5847  
Email: ohshiba@diamonddcross.jp  
担当 専務理事 大芝 右近

## NPO 訪問記

No.2

特定非営利活動法人

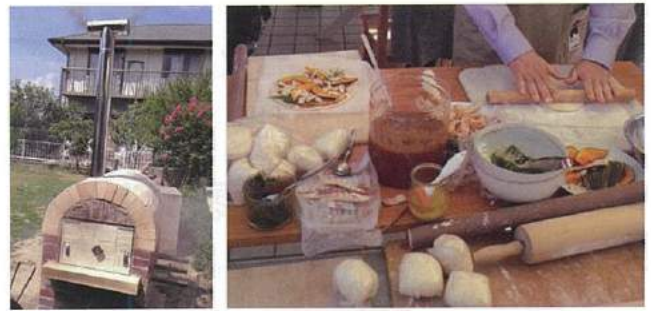
あんずぽこ

## 思春期に寄り添う

甲陽園にあるAns（アンズ）塾の場所を借りて思春期の子育て支援をされているのが「あんずぽこ」。代表の河村夏代さんにお話を伺いました。河村さんは20年以上の教員経験、さらに阪神南地区スクールカウンセラーとして活動。保護者から不登校の子どもとの相談を受け、やはりその子のことを知りたい、話してみたい、と思っても学校には出てもらえない。やっぱりそういう子たちが来られる場所を作らなければ、と思っていたところへ、子どもも親も大変なケースと遭遇し、協力してくれる教師仲間をつかまえて、一念発起して立ちあげたのがあんずぽこです。Ansであせらず一歩一歩（poco a poco）という願いがこめられています。様々な助成を受けやすいように、平成26年NPO法人格を取得されました。

こも  
籠ることに意味がある

主な事業はフリースクールや相談活動、保護者の自助グループ活動です。子どもに対する悩み、不安、戸惑いを抱えた保護者が相談に訪れます。学校に行けなくなるきっかけは確かにあるけれど、原因は簡単にいえるものではなく、共通しているのはごく普通のまじめな家庭であることが多いそうです。それだけに保護者は「なぜ？」とショックが大きく自分を責めてしまう。相談活動の中で、親が落ち着き、子どもがあんずぽこに出てくるようになる。学校に行かない時期（＝おんこも籠り）を過ごし、大人が信じて見守っていると子どもは自力で動き出す。また保護者同士の集まりで、思いを共有することで見通しが立てられたり、辛抱がきくようになる。スタッフさんたちが親子に寄り添い続けな



がら、子どもたちは変化し前進し自信を取り戻していくそうです。

最初からあんずぽこに通うのは敷居が高いだろうということで、屋外でピザ釜体験などの作業を通して、参加者の交流、きっかけづくりにも力を入れておられます。去年はフリースクールから9人中6人が巣立ったそうです。自身のペースを大切にしながら進んでいくことをあんずぽこで身に付けた結果なのだろうと感じました。



## 焦らずあきらめず今をつながる

子育て支援といえば、今は就学前が中心だけれど、思春期こそが社会人になるための重要な期間であり、保護者も初めての経験に不安が大きい時期です。保護者自身思春期に苦い経験があるとなおさら、子どもによけいなことをしてしまいがちになるとおっしゃっていました。今は身近に困っていることを話し合える場がなく孤立しがち。だからこそ、不安を抱えている保護者を気軽に相談できる場につなげられるよう、切れ間のない子育て支援の仕組みづくりに奮闘中のあんずぽこです。私の子育て時期にも欲しかった！悩んでいる親御さんたちに広く知っていただけますように！

(訪問者：廣田)

〒662-0017 西宮市甲陽園西山町2-1 (Ans教室)  
TEL/FAX: 0798-75-2618  
URL <http://anspoco.sakura.ne.jp>  
代表 河村 夏代

## NPO 訪問記

No.3

特定非営利活動法人

### ひょうご新林家21

JRさくら夙川駅から歩いて数分のところにある特定非営利活動法人「ひょうご新林家21」の事務所を訪ね、副理事長である鈴森素子様からお話をお聞きしました。

#### 活動の動機

そもそもの活動を起こす動機となったのは、平成7年の阪神・淡路大震災で被害を受けた方が多かったのですが、官公庁が手を差し伸べたのは公営の建物で、個人は個人で対応するように、とのことだったようです。

そこで独自にネットワークを作り助け合っているとしてこの活動がスタートしたとのこと。

それ以降活動を続けられ、正式な組織スタートは平成15年、NPO法人となったのが平成16年とのこと。

#### 活動内容

現在メンバーは30社に及びまた活動範囲は西宮地区に限らず宝塚、明石、加古川、姫路、豊岡と広範囲に及んでいます。各地区の地元工務店さんが中心となり、「ちょうの家」という共通のコンセプトのもと活動をされているそうです。

「ちょうの家」とは長寿、長住、環境を象徴する蝶のそれぞれの「ちょう」を念頭において付けられ、兵庫県・地域産木材の利用、長寿命、エコ住宅を目指しています。こうした活動を消費者の方々に広く知って頂こうと今年の10月にJR姫路駅でイベントも開催されました。



#### 活動上の課題

活動が兵庫県の広範囲に及んでいるため、テーマは統一出来ても、活動は地域毎になってしまうことが課題であるとおっしゃっていました。

確かに豊岡と姫路では気候も結構異なるし、

地元の工務店さんは当然別になりなかなか一緒に行動を取り難いと思われます。

また住宅購入者の方も、自動車を購入する場合なら、まず数十万円かけて免許をとり、メーカーや車種、価格等を熱心に比較検討されてから購入されるが、住宅の場合は余り手間暇をかけない方が多いのではとのこと。確かに住宅メーカー、販売者を信用し、自分で注文した建物をチェック、確認することは少ないと感じました。



#### 今後の活動

長年代表者として活動されてきた大海理事長が昨年で退任され、新しい林理事長と交代されました。今年度からは国土交通省の新規事業「地域型グリーン化事業」に力を入れ地域材の活用と環境も加えて幅広く活動をされて行かれるとのこと。



#### まとめ

住宅用資材の品質や、建設技術の向上により住宅の耐久性と居心地が大幅にUPしている今日、住宅は家族が100年住むことが出来る重要な資産です。

人が健康診断を欠かさないと同じように住宅も必要な点検と補修により長期間住み続けたいものです。  
(訪問者：島崎)

〒662-0044 西宮市平松町8-27  
TEL/FAX: 0798-22-3011  
Email: QZS05450@nifty.com  
URL <http://shinminka21.com>  
副理事長 鈴森 素子

## NPO 訪問記

No.4

特定非営利活動法人

### 関西トータルヘルス サポートセンター

#### 閑静な住宅街の門戸荘に

国道171号線の門戸大橋を東に上り始める辺りの左手山手方向が閑静な住宅街門戸荘です。

門戸厄神駅から歩いて数分の素敵な一戸建てのお家が特定非営利活動法人関西トータルヘルスサポートセンターのカウンセリングオフィスです。



#### トータルヘルスサポートとは？

トータルとヘルスとサポート、各々は分かりますが、三つ繋がった言葉の意味を理事長櫻井さんにお伺いしました。

身体の病は心の不安をもたらし、心の病は体の不調を来します。

そういった心と体の両面、人々のところとからだの健康をサポート出来る体制でカウンセリング、心と体を分けることなく大きな観点で接しておられるそうで心と体は常に繋がっており仏教や東洋医学の考え方にもある“心身一如”というのが基本的理念だそうです。

#### どんな方がいらっしゃいますか

不安が積もり積もった心の悩みを持った方、上手く人付き合いが出来ないコミュニケーション能力が育っていない若者、自分という存在が分からず、人の評価ばかり気にしてストレスをためてしまう人たち、親御さんが連れてくるだ

けではなく自ら探し当て来られる方もいるとのこと。

#### 専門家のご苦労も

心の病を持っている人々を支援する医師、臨床心理士、カウンセラー、ボディワーカーなどのセラピストが、大変苦勞し疲れている現状や教育現場でいじめや不登校などの対応に苦慮されている教師、養護教諭の先生方、学校カウンセラーのストレスも多大なものがあるそうでプロの方々へのカウンセリングやストレスケアもやっているということも伺いました。



カウンセリングルームと櫻井さん

#### 料理教室とは

支援事業の一環として料理教室があります。

みんなで話をしながら料理を作ること、そして一緒に食べることにより他者とのコミュニケーションを図る訓練を行い、社会生活復帰へのトレーニングを行っています。

#### どうぞ御相談下さい

インターネットで「心」とか「悩み」で検索すると沢山の情報がありますが、相手は画面です。

生身の人間と話してみるのも大切なこと、一人で悩まず一緒に考えてみませんか。

ベテランスタッフがあなたの心の癒しを行い本来の自分を取り戻すお手伝いをします。

(訪問者：横井)

〒662-0825 西宮市門戸荘3-7  
TEL/FAX: 0798-53-9000  
Email: info@npo-kthsc.m3rd.jp  
理事長 櫻井 佐紀子

## NPO 訪問記

No.5

### 西宮くぐつ座

#### 西宮くぐつ座の誕生

西宮くぐつ座は、平成5（1993）年国際人形劇フェスティバル開催のために結成されました。

「西宮人形まつり」をはじめ「にしのみや市民祭り子どもコーナー」、「西宮酒ぐらルネサンスと食フェアえびす親子ひろば」、毎月第2土曜日の「人形劇定期公演」などで人形劇の場を企画・運営、子供や大人の人形劇講座に参画するなど、メンバー20名ほどではば広く活動されています。

#### にしのみや市民祭り子どもコーナー

10月24日 にしのみや市民祭りにおいて、市民会館1階子どもコーナーの企画と運営をされており取材をさせていただきました。

会場は市民会館の前の広場、会議室を使用し、人形劇、フェイスペインティング、スーパーボール等いろいろな出し物を運営されていました。



人形劇では市内の数多くの団体が順次、上演されていました。現在のTV、ゲーム世代の子供たちが食い入るさまは、やはり生の力は大きいなと感じました。



またスーパーボール等ゲームは子供目線での企画力のたまもので、日ごろ人形劇で養われた感性が生きていると思います。

#### 門戸厄神東光寺人形供養

11月19日毎年門戸厄神東光寺で行われる人形供養の前のイベントに西宮くぐつ座の出演時間があり、取材させていただきました。

舞台は13時から西宮くぐつ座の十八番「人形芝居えびす舞」が演じられました。当日朝から小雨模様でしたが、西宮くぐつ座の出演時間にはすっかりあがり、絶好のコンディション。えびす舞は狩衣を着たえびす様が釣竿を担いで庄屋さんの家へやって来るところから始まります。三こんの盃を飲み干したえびす様は、舞いながら自分の生まれや福の神であることを述べ、豊漁、豊作、平和を祈り酒を飲み干し、その地に幸福を運んできます。酔ったえびす様は舟に乗り、沖に出て大きな鯛を釣り、めでたしめでたしと舞い納めます。



人形は後ろでメンバーの方が黒い衣装を着て、人形を操っておられ、これが本当の黒子かと思いました。

西宮くぐつ座は平成26年5月に門戸西町に「人形劇の杜 西宮くぐつ座館」をオープンし地域の方々にも親しまれる拠点となることを願って、人形劇やおはなし会などの行事を企画していきたいとのことです。

（訪問者：広尾）

〒662-0828 西宮市門戸西町3-34  
西宮くぐつ座館 座長 野村 好昭  
連絡先 副座長 池田  
TEL: 090-9164-7188 FAX: 0798-72-2051  
Email: kugutuza@gmail.com

## NPO 訪問記

No.6

特定非営利活動法人

## 兵庫介助犬協会

## 介助犬の育成を通して、身体に障害がある人の夢をかなえていくお手伝いがしたい！

西宮神社（えべっさん）の東側の商店街の中にある「特定非営利活動法人兵庫介助犬協会」にお伺いして、理事長 北澤光大さんにお話をお聞きしました。

介助犬とは、「身体障害者補助犬」の一種で、肢体不自由者の日常生活動作をサポートするため、使用者（ユーザー）の障害の種類や程度に合わせ、個々にオーダーメイドで介助動作が訓練された後、厚生労働大臣が指定した法人から、使用者とペアで認定を受けています。

北澤さんは訓練士の養成学校へ通っていた頃、「介助犬が活躍する世界を広げたい」と考え、自らNPO法人を立ち上げて挑戦を始められたのだそうです。兵庫介助犬協会は、介助犬の育成と無償貸与を行い、「肢体不自由者の自立と社会参加を支援すること」を目標に活動しています。ただ、全国で介助犬を必要としている人は約1万5千人いると言われ、これに対し現在活躍している介助犬は74頭で、圧倒的に不足しています。



## 介助犬の認知度は？

2002年に成立した身体障害者補助犬法は、盲導犬・介助犬・聴導犬を連れた身体障害者が

お店や施設を利用する際には拒んではならないことになっているにも関わらず、未だ、お店や施設を利用する際に受け入れてもらえない事例が見受けられます。



## 皆様の暖かいご支援、ご協力をお願いします。

育成から、認定、そして約8年間ペアである使用者と介助犬のサポート、引退までに、約400万～800万円必要で、その費用のほとんどは寄付で賄われています。また、介助犬候補の子犬、候補から外れた犬、引退した犬等、介助犬に関わる犬達が幸せに暮らしていけるよう、お世話をして下さるボランティア、介助犬の啓発活動にご協力いただけるボランティア等、まだまだ多くの方々のご支援、ご協力が必要です。



(訪問者：浅野)

〒662-0915 西宮市馬場町4-9  
TEL/FAX: 0798-37-4649  
Email: info\_hsda@ybb.ne.jp  
URL <http://www.kaijyoken.net>  
理事長 北澤 光大

## NPO 訪問記

No.7

### 素人落語 我楽多の会

11月22日西宮市市民交流センターで視覚障がい者団体とコラボした落語会が開かれた会場で戎家ぱんだ（松岡裕之）さんにお話を伺いました。



#### [笑い]で、明るい社会を！

西宮、宝塚、神戸等から素人落語を愛する人たちが集まって平成24年に設立され4年目を迎えました。会員は40歳から60歳代までで代表の風流亭半丸（奥園）さんを中心に8人で運営されています。

定例の自主公演を西宮市市民交流センターで2か月に1回のペースでおこなっています。出張公演も含めれば年間10数回の公演を行って市民の皆さんに笑いを提供しています。「笑う門には福来る」笑いを提供することで明るい社会づくりに寄与することをモットーに活動しています。

出張公演は主として高齢者福祉施設の慰問や自治会からのお誘いに応じて行っています。お客様もだんだん定着してきて毎回60～70名の方に楽しんでいただくようになりました。



#### より多くの人に届けたい[笑い]

12月6日には第8回門戸寄席をじゅとう屋別館のJ:SPACEで公演します。また1月の定例会は新春顔見世興行として第22回我楽多寄席の公演が西宮市市民交流センターで企画されています。

より多くの人に楽しんで貰うことこそが会員みんなの願いと言うことで、無料公演が続けられています。「特にお金もかからないので…」とおおらかにおっしゃっておられた戎家ぱんださん。皆さんお気持ちの優しい人たちだなと思いました。

現在は主として西宮市を中心に活動されていますが、活動の範囲をもっと広げられればいいなどの希望も持っておられます。



#### 演目は日々進化

7人の演者と1人の裏方が協力し合って楽しい舞台を演出されていますが演目は古典落語から新作まで、子ども向けから、英語落語までとバラエティに富んでいます。お客様の楽しい笑顔を見る喜びにあこがれて、日々精進をされている様子に「楽しんで人の役に立つのは素晴らしいこと」と感じ入りました。

高座は希望に応じて10分位から30分位までとフレキシブルに対応できるとか、読者の皆さんのイベントとのコラボなども考えられたら如何でしょうか。

詳細はHPをご覧ください。

(訪問者：森)

〒663-8112 西宮市甲子園口北町5-8  
TEL: 090-6057-1470  
URL <http://garakutanokai.jimdo.com/>  
代表者 奥園 稔



## NPO訪問記

No.8

## STEP BY STEP

## 音楽で地域貢献

西宮での音楽イベントに数多く参画されているSTEP BY STEP理事長山本好克さん、副理事長容子さんご夫妻にお話を伺いました。2005年脱サラした山本さんは、NPOの中間支援をしているCS神戸で活動。

そこで様々な分野で活躍する市民団体へ出向いて修行されたそうです。社会貢献や障害者・高齢者の支援活動など出会い、「何か自分でもできることを」と思い立ったのが音楽を通じた活動でした。元々容子さんが音楽教室を開いていたこと、山本さんはバンド経験者。その経験や環境を生かしてお二人が同じ方向に進まれたことにうらやましさを感じました。

どんな活動も思いが同じでないとうまくいきません。考え方の違いやコミュニケーションのすれ違いで分解してしまう組織はたくさんあります。

お二人のお話をお聞きして、統一された考えとバランスのよい役割分担を感じました。



## 豊かなところと生きる力を

2010年に『虹の輪コンサート』として活動を始められ、2014年からは『STEP BY STEP』として高齢者・障害者施設、地域イベントなどでのコンサート活動を続けておられます。演奏者は主にプロのミュージシャン。年50回を越すイベントの中でも、秋から冬にかけては大忙し。公的機関や地域団体からの依頼も増え、地道な活動が自然に広がった結果と言えます。

演奏して盛り上がり、お客さんの楽しい顔やリラックスした様子を見るのが一番の充実感です。お客さんに合わせて、朗読・紙芝居・バルーン

アート・ダンス・体操まで、楽器・楽曲とのコラボを工夫することもあります。

子どもから高齢者まで幅の広い要望に応えるのは、相当な技術が必要で、その経験を積むことがミュージシャンとしての実力にもつながるそうです。

演奏者のコーディネートや、依頼先との交渉、打ち合わせ、練習、本番の同行など、本当に「あーしんど」と思うこともあるけれど、やっぱり「待っててもしょうがない、動かないとダメ」という言葉が印象的でした。人も社会も関わりたければ自分から、と改めて気合を入れられた気がしました。



## 若手ミュージシャン育成が課題

「自分で聴きに行ける人は自分で行けばいい。外出機会の少ない人たちに、本物の音楽に触れて楽しんでもらい、癒しやコミュニケーションの場を提供すること」を信条にこれからも活動を続けていけます。



目下の課題は、若いミュージシャンを開拓していくこと。演奏者とお客さんの探り合いからスタートして、あれれ(-\_-;)？これでどうだ?? あ～ノッてきた!(^^)最後には一体感!

こんな体験をしてみたい、演奏者としてスキルアップしたい、という子ども好きなミュージシャン大募集中です!!

(訪問者：廣田)

〒663-8121 西宮市戸崎町4-9  
TEL/FAX: 0798-66-9616  
URL <http://ameblo.jp/1954yoko/>  
代表理事 山本 好克

## NPO 訪問記



特定非営利活動法人

**なごみ** (まちカフェなごみ)

### 阪神武庫川線に乗ったことがありますか

全国に5箇所という川の上にホームが有る珍しい阪神武庫川駅その西宮側の堤防際を南に走る東鳴尾、洲先、終点の武庫川団地前まで4駅わずか1.7kmの阪神武庫川線、一度も乗ったことのない西宮市民が結構います。

その洲先駅前のマンション1階にNPO法人なごみが、運営している「まちカフェなごみ」があります。

店長で事務局長の田村幸大さんにお話を伺いました。



### 新しいカタチのデイサービス

カフェという名前がついてますが、一般的な喫茶店とはちょっと違います。

平成26年11月に西宮市の介護保険制度のモデルとして「まちcafeなごみ」は誕生。

介護予防と地域の交流を目的とした新しい形のデイサービス、高齢者支援、お客様とのコミュニケーションを大切にする集いの場から一歩進んだ繋がり場です。

介護予防とは、健康な生活を長く続け、介護を受ける状態にならないようにすること、そして、それを後押しする方策です。

### やってくる人たちはメンバー登録

お客様は利用者としての登録をします。

中学生までのこども、高校生からは大人扱いで64歳まで、そして65歳以上と三種類のメン

バースカードがあり来店たびにスタンプが押され10回で一杯百円のドリンクが無料サービスされます。

こどものカードには保護者のサインが必要となっていて中でゲームをしてはいけないなんてルールがあり、こどもたちも10回来るとお楽しみがあります。

午前9時から午後5時までの営業で一日に60人以上の方が来られお茶とお喋りを楽しめます。

取材時の午後のお客様は男性1人他は女性陣でしたが、午前中は定期的にやってくる男性客が多いそうです。

地元のお話好きな主婦のスタッフ二人がカウンターから積極的に話しかけ日々の出来事やちょっとした困りごとを聞き出す等心がけ、しばらく姿を見せない時は様子を探る工夫も在るようです。

こどもメンバーの学校帰りの小中学生が店内を覗きこみ挨拶をしていく微笑ましい光景もあります。



### 今後は市内各地に

西宮の南、東の端という市内中心地から少し離れた「まちカフェなごみ」ですが、どんな雰囲気か、ほのぼのとした阪神武庫川線の電車に乗り訪問してみたいかがでしょうか。東鳴尾の皆さんの施設ですが、他の地域の方も大歓迎、こんな繋がり場が身近に有ったらイイなと思うかも。

(訪問者：横井)

〒663-8132 西宮市東鳴尾町2丁目16-19-102  
TEL:0798-20-2333 FAX:0798-20-2339  
Email:naru.nago@gmail.com  
事務局長 田村 幸大

## NPO 訪問記

No.10

特定非営利活動法人

## アマモ種子バンク

## アマモ？何のこと？

以前から団体の名称は印象に残っていましたが、アマモとは一体なんだろうという好奇心の趣くままにお伺いしました。

出口理事長と芳田理事が応対してくださいましたが、とんちんかんな質問にも丁寧に付き合ってください、貴重な経験をすることができました。

事前にインターネットで基礎的なことは調べておこうとしてアマモ種子バンクのホームページを拝見したところアマモ種子バンクとは・事業種類毎の詳細・事業計画・事業報告・イベント他の予定表等克明な情報が掲載されており、見る者にとって痒いところに手が届くとはこのことかと思われるぐらい丁寧な情報が出ています。(団体名で検索)

閲覧カウントはその時「45403」と出ていましたので、かなりの人が見ているとは思いますが、反応についてのお二人の話は「笑って答えず」といったところでした。

アマモは魚が育ち、産卵するために必要な海の草ですが、埋め立てや環境の変化で生えるところが少なくなり、苗の育成や海底への移植が必要となってきています。



ただ、アマモについて一般にはよく知られていない面もありますので学校での環境教育や海岸でのイベントによって楽しく学んでいただくと共に学術的な調査・研究・開発に力をそそいでおられるとのことでした。

## アマモの地域性

アマモは魚にとって大変重要な役割を果たすもので種を残し発芽して育ちますが、種のとれた地域によって微妙な異なりがあり、何処に移

しても支障がないというものでなく、例えば北海道は北海道に九州は九州にという地域性を考慮する必要があります。

このため、種を地域別に収集し地域別の容器で冷蔵庫に保管し必要な都度必要な地域の種を使うという一種の銀行（バンク）のような機能をアマモ種子バンクが果たしています。



## 将来に向けて

各地の漁協等と連携をとりながら地曳網を使ったイベントやアマモ種子採取の催しは、いずれも好評で多くの人達が参加して下さっていますが、団体事務所の所在地である地元西宮での開催が不十分なこともあり、今後の課題として残っています。



西宮の浜でも実験や又は模擬イベントができるようになり市民の皆様にも広く知っていただける時期が来るよう、各浜で活動されている環境保護団体等とも友好を深める努力を続けているとのことでした。

今回の「みやしるべ」掲載が何かの縁となって、次への展開へつながるといいなと思った次第でした。

(訪問者：立田)

〒663-8142 西宮市鳴尾浜1-1-8  
TEL/FAX: 0798-42-3884  
Email: amamojimukyoku@amamobank.sakura.ne.jp  
理事長 出口 一郎

## NPO訪問記



### 兵庫県地球温暖化 防止活動推進員 西宮支部

近年の異常気象、とりわけ豪雨や鉄砲水、河川の氾濫、竜巻など、自然の怒りが強まっています。これらのことは地球温暖化の影響であり、人が引き起こしている現象であることを多くの人が認識されていると思いますが、さて身近に自分たちの生活の中でこの地球温暖化現象を少しでも改善するように取り組もうとしている人は極めて少ないのが現状です。

兵庫県地球温暖化防止活動推進員西宮支部は県知事から委嘱されて、地球温暖化防止のための市民への啓発活動を2005年から行っています。

#### 課題は無関心

地球温暖化が進んでいることは知っていても、その現象が身近に自分たちの日常生活の中で誘引されていることに無関心であったり、知ろうとしない市民が多く、そのために地球温暖化防止活動推進員はあらゆる機会を捉えて、温暖化のメカニズムやその防止の為に「私たちができることは何か」を知ってもらう活動を行っています。

会員数は15名ですが実際の活動は8名前後で取り組んでいます。



#### 継続は力なり

企業の生産現場も大きなテーマをかかえており、国際外交レベルでの取り決めで防止策に取り組んでいることは皆さんご存知ですが、市民一人ひとりの毎日の暮らしの地道な改善も地球温暖化防止への大きな力になることを認識することが大切です。

西宮市市民交流センターを拠点にして定例会を

開催し、各場所でいろいろな機会に啓発活動を行っています。

7月 夏祭り：パネル展やエコ教育  
(牛乳パックで帽子づくりなど)

10月 市民まつり：環境キャンペーン

10月 公民館パネル展

11月 消費生活展：省エネ&環境ゲーム

11月 セミナー開催：(家庭の省エネ)

などのパネル展や啓発事業に加え、市民の環境意識向上に役に立つ施設見学や現場体験の企画も行っています。8月に大阪ガスの泉北工場を見学し企業の環境施策を勉強しました。12月には地産地消を目指す農業現場の体験や環境に優しい石鹸を作っている工場を見学しました。

また、駅頭でのティッシュペーパー配りや地域交流会なども行っています。



にしのみや市民まつり



消費生活展

#### みんなで温暖化防止の一役を！

小さなハチドリが山火事を消すためにくちばしに水を含ませて立ち向かう「ハチドリの一滴」という童話があります。このハチドリのように市民一人ひとりの努力の積み重ねが地球温暖化を食い止めるためには必要だと思います。その努力を兵庫県地球温暖化防止活動推進員西宮支部の皆さんは続けておられます。その熱心な地道な活動と熱い思いが皆さんの生き甲斐にもなっているように感じました。

市民の皆さん！地球環境保護の大切さにも目を向けて、毎日のちょっとした努力を続けることをご一緒に進めていきましょう。

(訪問者：森)

〒663-8203 西宮市深津町10-704  
TEL/FAX: 0798-65-0160  
(代表 畑 修治) 事務局 水澤 久子

NPO等公益活動市民団体啓発事業実行委員会

〒663-8204西宮市高松町20番20号(西宮市市民交流センター内)

TEL: 0798-65-2251 FAX: 0798-65-2252 Email: info@shimin-koryu.net

ご感想やご意見を  
お寄せください

